

第10回目を迎える「葛飾図書館友の会ウィーク」開催(11月3日~23日)

特別講演会は中西裕氏の「ホームズで知る推理の愉しみーホームズ映画の魅力」

お話会や紙芝居、マジック、朗読会や映画会など目白押し

毎年11月に主催し、中央図書館が協力する「葛飾図書館友の会ウィーク」も今年で第10回目を迎えます。

“本を読むのが楽しい、図書館を利用するのがうれしい”という区民の皆さんの輪を広げ、あわせて図書館の果たす重要な役割を再認識し、当会及び参加団体の活動を少しでも図書館利用者の皆さんに知っていただくようにとの趣旨で、中央図書館開館から始まったウィークです。

今年の開催期間は11月3日(土・祝)から同23日(金・祝)までの約3週間。8月4日(土)午後、参加団体への説明会で、会場となる中央図書館の「おはなしのへや」及び会議室1・2使用イベントの日程調整や必要器具・資料の調査が行われました。

友の会はナイトシアター委員会の「蝉しぐれ」上映、CD・DVDコンサート委員会はナイトシアター委員会と共催してのDVD「不滅の恋/ベートーヴェン」上映、児童サービス応援委員会は毎年好評の「手袋人形講習会」とおはなし会、広報委員会はキーワード読書会、そして実行委員会による中西裕氏の特別講演会「ホームズで知る推理の愉しみーホームズ映画の魅力」と、そして映像文学館「永井荷風」が企画されています。

また友の会会員が参加・活動する、あるいは中央図書館に登録しているボランティア団体が素話、絵本の読み聞かせ、手遊び、紙芝居やマジック、大道芸の披露、朗読会、朗読劇、リコーダーの演奏などの活動の成果を発表します。

同時に館内2箇所の展示コーナーを利用して、各委員会や参加団体の活動内容や経過、PRなどの資料展示も併せて行います。

詳しい内容を記載した「総合プログラム」は10月中旬までに、また個別のイベントのチラシは10月中旬に区内の各図書館にも配布されます。開催報告などは次号の「友の会通信」に掲載します。

講演会(11月17日)に向け シャーロック・ホームズの魅力を知ろう!



中央図書館受付横のかつつしかコーナーで、特別講演会「ホームズで知る推理の愉しみーホームズ映画の魅力」に備え、10月に特集本コーナー「ホームズで知る推理の愉しみ」を展示します。図書館で初めてホームズと出会い読書の楽しみを知ったという方も多いはず。1977年に日本シャーロック・ホームズ・クラブが創立された当時の会員であり、図書館学の権威でもある講師の中西裕さんの著作も展示いたします。



第10回 友の会ウィーク

図書館からひろがる!ひろげる!

2018年
期間 11月3日(土・祝)~11月23日(金・祝)

場所 葛飾区立中央図書館



11/17(土) 特別講演会「ホームズで知る推理の愉しみーホームズ映画の魅力」
午後2時~
中西 裕さん 日本シャーロック・ホームズ・クラブ会員 元昭和女子大学教授

主催: 葛飾図書館友の会
<https://www.katsutomo.jimdo.com/> 協力: 葛飾区立中央図書館
お問い合わせ 中央図書館事業推進係(友の会担当) 電話: 03-3607-9201

「読み聞かせボランティア講座」で おはなしや活動を実演で紹介 児童サービス応援委員会が活躍、新会員も誕生



5月から6月にかけて、中央図書館で『読み聞かせボランティア講座』(全5回)が開催されました。小学校・幼稚園・保育園などでのボランティア活動の入門編で、中央図書館主催の講座です。

5月30日(水)午前中はその2回目の講座で、「活動経験者の話と実演」に、葛飾図書館友の会の児童サービス応援委員会会員5名が約20名の受講者の前で、その活動内容やこれまでの経験やコツなどを話しました。

実演として会員が素話、絵本の読み聞かせ、手遊びを披露し、経験を通した子どもたちを楽しませるためのノウハウを、

例えば子どもたちと顔を見合わせる、集中力の関係から短めの題材を選ぶ、簡単な問いかけをして答えをもらい、おはなし会に巻き込むなどを語りました。

最後に素話や絵本などの選択という質問に、本人も楽しめる、リズム感があり、季節に相応しいもの、更には次世代の子どもに伝えたい題材を選ぶとのアドバイスもありました。

図書館の協力により「友の会」の紹介があり、その後、5名の新会員が誕生しました。

「いいね! かつしか 学ぼう… 図書館と仲よく共に!」 地域貢献活動を紹介する社協月刊紙に「友の会」が紹介される

4月に葛飾区社会福祉協議会地域貢献活動サポートセンターから「協働サイト」やホームページで当会の活動を知り、活動内容などを取材したいとの申し入れがありました。情報交換のよい機会だと朝野友の会会長がインタビューに対応し、月刊紙『かつしかゴト。』(2018年7月号)に“いいね! かつしか 学ぼう… 図書館と仲よく共に! 「葛飾図書館友の会」”との紹介で、設立経緯や今後の展望などが掲載されました。

地域とつながる4ページ

2018年7月号

講座情報・専門相談・出張相談・メルマガ配信サポートデスク情報満載!!

CONTENTS

紹介! いいね! かつしか 学ぼう… 図書館と仲よく共に! 「葛飾図書館友の会」

注目! もっと! かつしか 次号予告! 「木曜日の日本語学校」

注目! コラボまつりだわっしょいわっしょい! コラボがかつしかまつり開催のお知らせ

葛飾区社会福祉協議会
地域貢献活動
SUPPORT DESK

地域貢献活動サポートデスクでは、NPO法人や市民活動団体/ボランティア団体/その他の活動団体や個人など、皆さんが取り組む様々な活動に対する相談や支援を行い、また、関連した講座を開催します。

いいね! かつしか

葛飾図書館友の会

「いいね! かつしか」では、葛飾区内で活動する市民活動団体を紹介しています。今回ご紹介するのは、図書館でのボランティア活動、学習会、交流会などを通じて、図書館で地域のみならず共に学ぶことを目的とする「葛飾図書館友の会」です。会長の朝野雅彦さんに団体や、活動のお話を伺いました。

設立経緯

平成18年3月に中央図書館開設賛成会主催の講演会が開催されました。その参加者が中心となって区内の図書館の見学や図書館に関する講演会などに参加して、図書館の事を学んでいき、平成20年6月に「葛飾図書館友の会」を設立しました。設立当初は約30名の会員が、現在は70名以上の会員となっています。

活動内容

設立当初から読書・事業・広報の3つの委員会を軸に活動しています。設立総会の2ヶ月後には、広報係「友の会通信」創刊号を発行しました。また平成21年10月に中央図書館が開館10周年を契機に、11月に友の会主催のイベント「友の会ウィーク」を開催しました。友の会ウィークは、最初は参加者が200名程度のイベントでしたが、現在では15団体に参加し、400名が集まる大きなイベントになりました。

今後の展望

友の会では、事業ごとに委員会があり、アイデア出し、準備、実行するまで担当の委員会が全て行います。メンバーの自由な提案や発想を尊重して全て委員会で任せています。今後は、地域の商店街とタイアップしたり、様々な地域の課題に取り組みようなどイベントを開催したいです。できるだけ区民の皆さまのご要望をお聞きしながら、当会の活動に結び付けたいと思います。誰もが気軽に図書館に來館し、イベントに参加できるような図書館であらばいいと思います。

取材後記

図書館友の会のメンバーは、これからの図書館づくりについて、地域住民に寄り添った図書館にするためにはどのようなしたらいいかの地域の皆さんと一緒に学ばれてきました。会費足後10年経った今も「図書館を応援したい」という思いや熱意で、活動の幅を広げていきたいと日々努力されています。その思いが地域に広がり、図書館を利用する方が増え、街の活性化に繋がるといいなと思います。(取材: 池川/泉)

問い合わせ先
「葛飾図書館友の会」
HP <http://katsutomojimdo.com/>
中央図書館 友の会担当者
Tel 03-3607-9201

寄稿文

《葛飾図書館友の会》には、現代に求められている人間の場、『文化サロン』の胎動が感じられる

このたび『友の会通信』に立教大学院生の池田典子さんから、修士論文【現代社会における「文化サロンの意義」】という調査研究の結果、および一般市民の自発的な自治活動の未来像をしめすレポートが送られてきました。期待される友の会活動の成果を、私たちが抱える問題点と比較し、これからの活動へのありかたをみんなで考えてみませんか。

現代社会における「文化サロン」の意義

—「葛飾図書館友の会」のインタビュー調査を中心に—

立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科修了生 池田 典子

私は、2016 年～2017 年度の 2 年間、立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科で「社会デザイン学」を学びました。「社会デザイン学」とは、現代社会が直面する様々な課題に取り組み、系統的な理論と実践を通して具体的な方法論を探求する学問で、異なる価値観を持つ人々が共生していく社会を構築することを目的としています。その研究科で、私は芸術文化を通して人間関係を形成する「文化サロン」の意義について研究をし、修士論文にまとめました。

近年、孤立する人々が社会問題となっていますが、芸術文化活動が人間関係の形成に有効であるとの期待が高まっています。そこで私は、芸術文化を媒介とする人々の交流の場を「文化サロン」と呼び、芸術文化への親しみと人間関係の形成の相乗作用を探るために事例研究をしました。その事例の一つとして「葛飾図書館友の会」の CD・DVD 委員会の皆様にご協力いただき、インタビュー調査を実施しました。「葛飾図書館友の会」を事例として選んだのは、現代の日本において、公共図書館はすべての人間が無料で文化にアクセスすることができる場として確立しており、公共図書館そのものが「文化サロン」と言える可能性があると考えたからです。

調査の結果、「葛飾図書館友の会」は、確立した公共施設である公共図書館の後ろ盾によって支えられていながら、一般市民による自発的な自治活動である点で、持続可能な「文化サロン」として優位であることがわかりました。「文化サロン」であるためには、与えられた「場」を享受するだけではなく、参加者が能動的に関わる自主的な活動であることが必要ですが、他の事例研究として調査した民間の「文化サロン」は、優れた自主性を備えつつも、財政的に厳しい状況にありました。それに対して「葛飾図書館友の会」は、拠点となる場所が無料で確保されているため、財政的に全く問題がなく、会費も安価に抑えられており、活動を継続していく上で非常に有利であることが際立っていました。

また、インタビュー調査の中の「企画しているクラシック音楽鑑賞会は、人々を啓蒙しようとするものではない。やりたいことをやっているうちに友達ができた」という発話内容は、「文化サロン」の特徴を表していました。誰か詳しい人が教えるというのではなく、皆が知恵を持ち寄って活動しているうちに、いつの間にか芸術に親しみ、友達ができる「葛飾図書館友の会」は、現代社会に相応しい「文化サロン」と言えるでしょう。

今回の研究で、活気のある「文化サロン」が継続するためには、常連メンバーの存在が必要である一方で、新規メンバーの参加のしやすさも不可欠であることが見えてきました。十年近く活動が継続している素晴らしい「葛飾図書館友の会」ですから、今後も新しい人や芸術文化との出会いの「場」となりますよう、ますますのご発展をお祈り申し上げます。



葛飾 友の会

検索

クリックで葛飾図書館友の会HPへ

アドレス <https://katsutomo.jimdo.com/>

ついに100回を超えたDVD映画上映 - ナイトシアター委員会

スタート以来、すでに延べ6千人以上が鑑賞

「名作が観られた」「楽しいひととき、ありがとう」などの声



平成21(2009)年10月に第1回「大菩薩峠」、11月に「黄色いリボン」を上映して以来、ナイトシアターの開催は、今年100回を超えました。毎月第2土曜日の午後6時から8時を原則に、中央図書館所蔵のDVD映画で、かつ上映権つき映画を区民の皆さんに楽しんでいただいています。友の会ウィークでの特別上映会を含めると毎年13回を数えます。ナイトシアター委員会は図書館の協力のもと、上映映画の関係資料や書籍などを当日までに準備し、会場となる会議室1に展示しています。平成28年度のナイトシアターへの入場者は約700人、そして平成29年度は800名を超えました。したがってナイトシアター開始以来、延べ6千人以上が鑑賞した計算になります。

上映後のアンケートにも「昔の名作を今観られるなんて」「テレビでは観たが、大きな画面と音量で楽しめた」などの声が寄せられています。

以下、本年度後半の上映映画のラインナップです。都合により上映予定が変更になる場合がありますので、ポスター、チラシ、友の会ホームページなどでチェックして下さい。

10月13日(土)	西部の男	1940年 アメリカ 100分 モノクロ 日本語字幕 監督 ウィリアム・ワイラー 出演 ゲイリー・クーパー、ウォルター・ブレナン 他
11月10日(土)	蝉しぐれ	2005年 日本 131分 カラー 監督 黒土三男 出演 市川染五郎、木村佳乃、今田耕司 他
12月 8日(土)	ジェーン・エア	1944年 96分 モノクロ 監督 ロバート・スティーヴンソン 出演 ジーン・フォンテイン、オーソン・ウェルズ 他
平成31年 1月12日(土)	ミツパチのささやき	1973年 スペイン 99分 カラー 監督 ビクトル・エリセ 出演 アナ・トレンド、イサベル・テリエリア 他
2月 9日(土)	レインメーカー	1997年 アメリカ 135分 カラー 監督 フランシス・フォード・コッポラ 主演 マット・デイモン、クリア・デーンズ 他
3月 9日(土)	雨に唄えば	1952年 アメリカ 103分 カラー 監督 ジーン・ケリー、スタンリー・ドローネン 出演 ジーン・ケリー、デビー・レイノルズ 他



第100回ポスター

☆☆☆☆☆☆ 「葛飾図書館友の会」で一緒に活動しませんか！ ☆☆☆☆☆☆

『友の会』は多くの会員によって活動しています。図書館を利用されている方、活動趣旨に賛同される方々、是非ご入会いただいて、あなたの図書館に関わるいろいろなアイデアを少しずつ実現してみませんか？ 原則として第3土曜日の午後1時から3時まで中央図書館内で、また友の会の開催イベント時でも直接の入会受付を行っていますので、是非ご利用ください。年会費は一般会員1,000円、賛助会員は1口2,000円です。上記の方法が利用できない場合、入会希望者は中央図書館に入会届をご提出の上、年会費を右記の口座に納入してください。図書館での年会費の直接納入はできません。「通信欄」に一般あるいは賛助会員かを明記の上、30年度年会費とご記入下さい。また1口500円の寄付も大歓迎です。払込手数料は窓口では130円、ATMからでは80円です。恐れ入りますが、ご負担をお願いいたします。

ゆうちょ銀行	口座番号	00100-7-392065
	口座名称	葛飾図書館友の会

入会届はHP (<http://katsutomo.jimdo.com/>) からダウンロードできます。

お問い合わせ先：中央図書館友の会担当者（打越さん、吉村さん、白井さん、川井さん） TEL 03-3607-9201

色えんぴつ

この秋、米寿を迎える母のため何か記念になる事をしたか？ 考えた。親族を集めてのお食事会もいけれども、高齢の母には結構負担かもしれない。そこで母の記念写真集を作ることにした▼最近スマートフォンでなんでもできてしまう。古いアルバムを実家から借りてきてスマホでスキャン。なんと、写真をアルバムに貼り付けたままデジタとして取り込める。フォトブック作成アプリを使ってペタペタと昔の写真を貼りつける▼すでに亡くなった父の兵隊時代の写真。昭和30年代の白黒写真。高度成長期に建築業だった父の現場での写真。若い時代の母の日本髪姿。飼っていた犬や猫の写真。私たちが兄弟の成長の過程▼その写真へコメントを付けてみようとして、多くのことを忘れており、そして父母にたぐさんのことを聞いていない自分に気付いた。末っ子の私が物ごころついた頃にはすでにどちらの祖父母も亡くなっていたので、私には父の写真相がなくて▼父方の祖母の写真相が一枚あるきりだ。大切にアルバムに貼られており、その写真は父の想いを感じた。母の親族はすでにみな他界している。かわいごとでもこの作業で久しぶりに思い出した▼作成した写真集を曾孫三人にも渡すことにしよう。彼らも母の記憶はあと数十年続く。これら写真の母はよるこんでくれるだろうか。

(阿部広報委員長)